

目標達成計画

作成日: 令和5年 2月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	短期目標と実践記録(介護計画)の連携が取れておらず、今後は、日常生活上の個々のケアがプランに即したものである様に、記録や書式を改善していく必要がある。	段階を追ってプランと介護記録の連動を見直し、日常のケアがプランの具体的な支援内容を実行し、かつその旨表記されているように改善を行っていく。	①プラン署名後、その短期目標を介護記録へ転載するプロセスを固定する。②介護記録への記載内容を、具体的な支援内容と連動させて記述するように周知を行う。	3ヶ月
2	26	※具体的な取り組み内容の①～④は同時進行。	実践記録の書式を見直し、更にプランの短期目標及び具体的な支援内容に沿った記録となるように(ケアの支援を行うように)改善を行っていく。	③プランを介護記録へ落とし込み、その内容を介護記録へ反映する。④介護記録の書式をプラン内容に沿って変更していく。	3ヶ月
3	26	若手職員への研修を行っているが、現在、基礎的な知識の研修や、ケアの仕方についての基礎的な知識を学ぶレベルを、終了しつつある。次の段階の計画が必要である。	中堅職員となるべき若手職員の研修を行っているが、今後の道筋として、「介護計画」の作成手順を学んでもらい、次世代の指導が出来る人材を作る。	⑤ケアプランと現場のケアの連動を学ぶため、毎月介護計画を作成してもらおう。また、勤務時間内に介護計画を学ぶ時間を作り、指導を行っていく。(昨年～現在も試行中)	3ヶ月
4		昨年8月にコロナ感染症のクラスターを経験したことを踏まえ、災害対策や感染症対策を順次更新し、日常の業務の中で研修や訓練等の形で職員間で共有する活動を継続していく。	最新の対策行動や業務形態が、日常的な支援内容や訓練等に入っていること。また、災害時における暴風雨や地震対策の訓練を年1回以上行うこと。	①感染症対策の訓練を、今後も年一回以上行う。②地震対策の訓練を、年一回以上行う。③BCPの作成と、それに則った訓練計画の立案を行う。(BCPIは作成中)	6ヶ月
5		ご家族との連携を日常的に行い、入居者様の日頃の状態や変化をすぐに(その日のうち)にお伝えしているが、それ以外にも、更に情報の共有が必要である。	制度上の評価報告(実地指導や外部評価など)を行ったり、運営推進会議の様態を、更に詳細にお伝えする。	ホームのおたよりの他に、文書のみのおたよりを作成し、電子文書(PDF)等の形式でお伝えする。(プライバシーの問題をクリアしたうえで)	6ヶ月